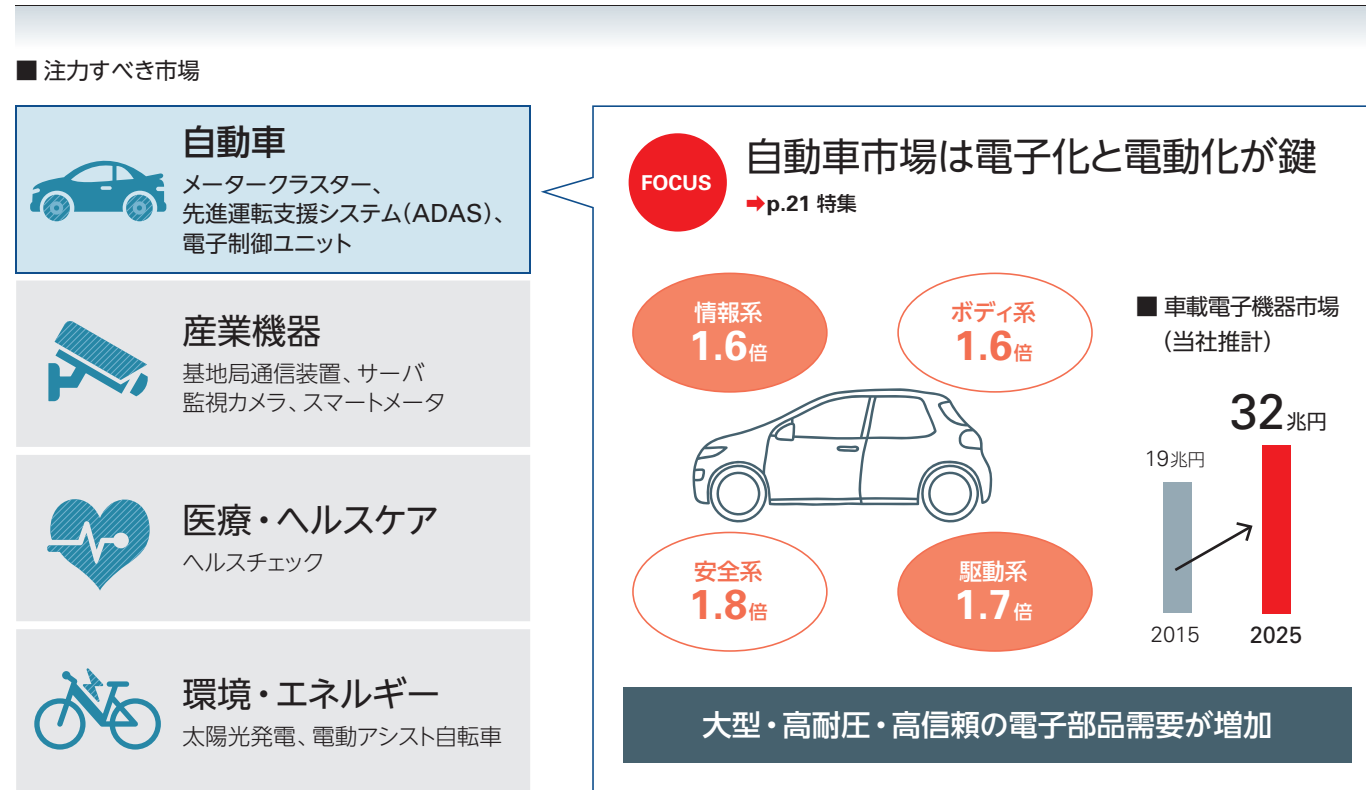


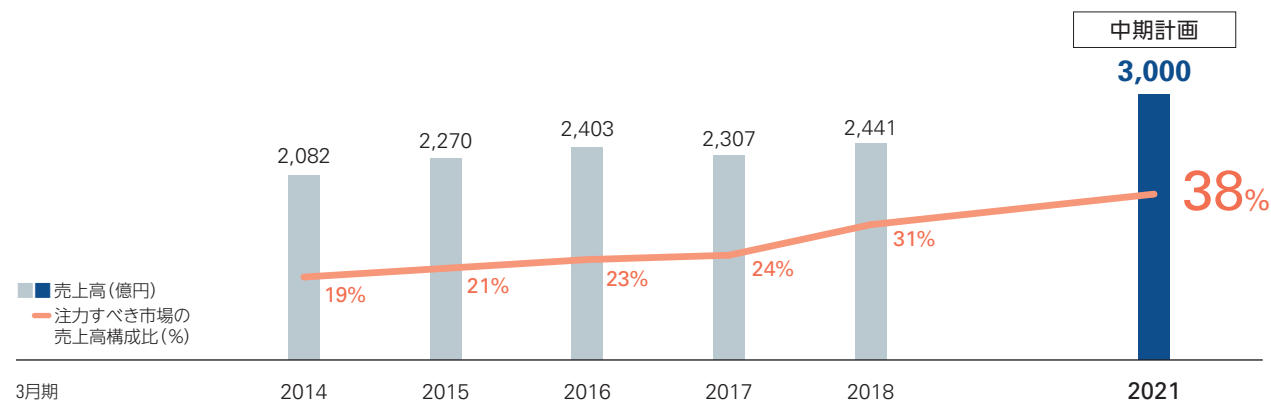
IoT時代到来に向け、成長戦略を推進

太陽誘電グループは、車載電子機器をはじめとした爆発的な需要増が予想されている電子部品市場において、マーケティングを強化し、生産能力の増強を進めています。

注力すべき市場における展開



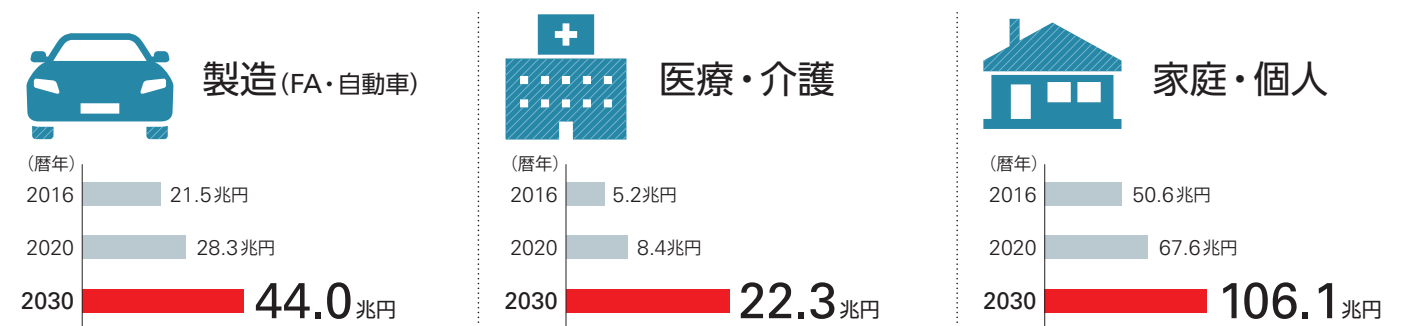
■売上高に対する注力すべき市場の構成比



拡大するニーズに対応した生産力強化

CPS※/IoTの世界市場規模は、2030年には世界で約400兆円に拡大

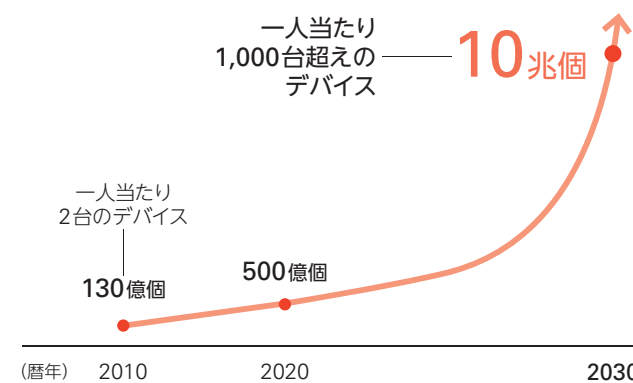
— 製造、医療・介護、家庭・個人とも2016年比で倍以上に —



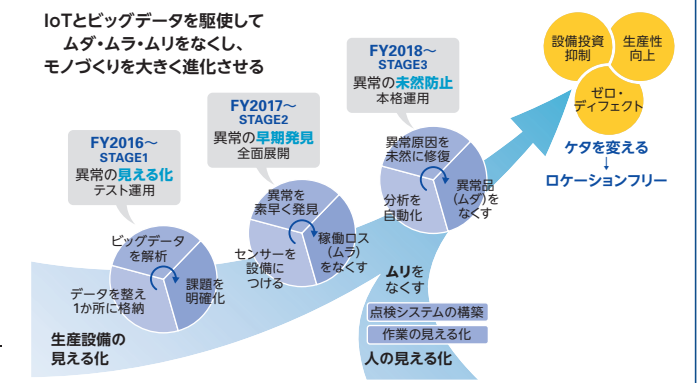
※CPS: サイバーフィジカルシステムの略。センサネットワークなどで多様なデータを収集し、それらを活用・分析して効率的かつ高度な社会の実現を目指すサービスおよびシステム。
出典: 電子情報技術産業協会 (JEITA) 「CPS (サイバーフィジカルシステム/IoT (モノのインターネット) 市場の利活用分野別の需要額見通し (世界市場)」

— 10兆個時代に備えて生産性の改善を推進 —

■インターネットにつながるデバイスの数の推移*



■「smart.E」プロジェクト モノづくりの進化



身の回りのあらゆる「モノ」がインターネットにつながるIoTが進展し2010年には130億個ほどだったインターネットデバイスは、2030年には10兆個にもなるといわれています。

※cisco IBSG予測をベースに当社推計

インターネットデバイスの急増に合わせて、電子部品の需要も爆発的に拡大することが予想されています。当社では生産量の拡大と安定した品質の両立に向けて、ムダ・ムラ・ムリをなくしてロスを削減し、桁違いの生産量にも対応できる生産体制を構築する生産性改善活動「smart.E」プロジェクトを進めています。